



**リヴァリエ** (共同住宅3棟) 区域面積 約4.4ha 住居戸数 1408戸  
日本コロムビア跡地  
京浜急行電鉄と大和ハウス工業の共同プロジェクト  
延床面積 約157,940㎡ 計画人口 4500人  
地区内に京急キッズランド 港町駅前保育園(2013.4開設)受入児童数約60人  
1階「テリヤキヤサキ」

**川崎港水門**  
1988年国の登録有形文化財に指定。台風19号で浸水(2019.10)

**港町駅**  
北口改札供用開始(2013.3)  
南口改札に美空ひばり氏の代表曲「港町十三番地」の歌碑を設置(2013.3)

**日鉄鋼管跡地**  
トヨタカー、ヤマダ電機、ブックオフ

**パークホームズグランファースト**  
敷地面積 約0.9ha 住戸数 303

**味の素 川崎事業所(工場)** 1914開業等 約37ha  
・「味の素」[ほんだし]「CookDo」のほか、製造業務用調味料や食品用・化粧品用医薬品用アミノ酸を製造  
・川崎事業所には、食品事業本部、アミノ酸事業本部、本社部門の3つの部門がある。  
・敷地内に味の素食品、AJEC、アジコム、味の素ファインテック、味の素 AGF、F-LINE、EAファーマがある。  
・国内食品生産体制の再編の一環として、調味料・加工食品の製造・包装を担う新会社「味の素食品株式会社」発足(2019.4)  
・味の素と市農業技術センターが、フルーティな香りが特徴の唐辛子の新品種「香辛子」を開発(2019.8)  
・アミノ酸が、7種類のがんの検査のほか、1回の採血で三大疫病の発症リスク評価も可能に(2019.4)  
・群馬県と埼玉県に分散していた味の素冷凍食品のR&D部門が、事業所内に新設した「フーズノードテック&デザインソリューション(FTD)」移転(2020.10)  
・食品研究所北棟竣工(2021.4)  
・スナック類の製造・包装の一貫生産を行う新工場を竣工、投資金額は約200億円(2021.10)  
・京浜臨海部における大規模水素利用の本格検討を開始(2022.03)  
・2022年9月より、3年ぶりに社会科見学の受け入れを再開(2022.6)  
・若者文化創造発信拠点「カワサキ文化会館」に、川崎プレイブサンダースが推進するSDGsプロジェクト「&ONE」のオフィシャルパートナーとして、カフェ「ENERGY SPOT supported by AJINOMOTO CO., INC」をオープン(2022.8)  
・「産業クラスターのネットゼロ移行イニシアティブ」への川崎市の参画に賛同し、協力することを決定(2023.1)

**アジアサイエンスカフェ**  
・アジアでの展開を目指す国内外の起業家と起業を目指す人々が共に仕事をするためのシェアオフィス・デスク、交流サロンよりなるコワーキングスペース

**ミリアオ大師河原** (共同住宅3棟)  
敷地面積1.1ha/戸数240  
**リヴァリエ** (共同住宅)  
敷地面積0.7ha/戸数207

**コマツ教習所神奈川センター**  
・建機、クレーン等の教習所

**小松製作所跡地**  
XAX(共同住宅) 敷地面積1.3ha/戸数319  
敷地面積3.2ha/戸数777

**実験動物中央研究所** 1914開業等 約0.6ha  
・ヒトマウスや世界初の遺伝子改変霊長類をはじめとする、高品質で均質かつ再現性のある実験動物の開発を通じてトの病気の研究と解明を促進し、医療の発展と人々の健康・福祉の向上に貢献  
・第3回日本医療研究開発大賞 健康医療戦略担当大臣賞受賞(2020.1)

**グレーシアシティ川崎大師河原** (共同住宅)  
大同特殊鋼社員用住宅跡地(2014.4着工/2016.6竣工)

**川崎キングスカイフロント東急REホテル** 客室数186室 2018.6開業等  
・環境省地域連携・低炭素水素技術実証事業として、平成27年度から5年かけて低炭素な水素サプライチェーンの実証を実施。内容としては「ハイラインでの水素供給」「使用するエネルギーの30%を水素で賄う(敷地内の燃料電池で電気や熱に変換)」「ホテルから出る使用済プラスチック(くしや歯ブラシ等)をリサイクルし、水素として還元」といったもの。  
・JFEエンジニアリングが100%出資するアーバンエナジーの電力メニュー「創電割」及び「ゼロエミッション」を活用し、ホテルで排出した食品廃棄物を燃料に発電された電力に加え、CO2排出係数ゼロの電力の使用を開始(2020.4)  
・1階ロビーに、水素発電でリフレタスを水耕栽培する設備を設置。ビュッフェなどで提供(2020.11)

**日本メトロニック イノベーションセンター**  
・医療従事者向けに、多様化する医療機器とその手技の安全かつ適正使用と浸透に向けて手技トレーニング、シミュレーション、各種セミナーなどのプログラムを提供する施設

**ナノフェル** 2006.10開業等  
・ナノエネルギー燃料、液体バイオマス発電、燃料改質など環境エネルギー事業を展開

**サツマ工業** 1914.6開業等 約0.5ha  
重電関係の大型製品等を製造

**島忠ホームズ川崎大師店**  
・ホームセンター、家具販売

**リサーチゲートビルディング(RGB1)** 2018.3開業等 約0.3ha  
・再生・細胞医療、医療技術・機器の研究開発等を行うことができる、4階建てのハイオメガイカルブ  
・1階にセブンイレブン、殿町郵便局が入居しており、2階から4階が企業入居スペースとなっている。  
・入居企業は、「遺伝子治療研究所」

**JSR Bioscience and informatics R&D center (JSR BiRD)** 2021.7開業等  
・高分子技術を活用した半導体材料・ディスプレイ材料・光学材料等といったアイン分野や、ライフサイエンス事業に注力  
・新研究所「JSR Bioscience and informatics R&D center (JSR BiRD)」を開所、オープンイノベーションの拠点として大学やスタートアップ企業等との共同研究による技術の相互補完と強化を実施(2021.7)

**島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza** 2022.10開業等  
・国内外の顧客や近隣の研究機関とともに、先端分析手法の開発およびSolutionの提供、共同研究推進、さらには国際的な学会や学術会議、セミナーを招聘して、新たな知の創造・交流空間を目指す

**SBカワミ本社 殿町メディカル研究所(MediSky)** 2021.10開業等  
・消化器内視鏡治療製品や血管内治療用製品のほか、手術ドレナージ関連製品、人工透析関連製品、採血・輸血関連製品などを開発・製造  
・医療機器の試作やシミュレーション設備、評価する体制を整えるとともに、注力分野である消化器内視鏡分野や血管内治療分野の次世代製品、その他新規分野のニーズ探索から技術開発を実施  
・住友ベークライトの医療機器事業を承継し、社名を「川澄化学工業」から「SBカワミ」に変更するとともに、殿町に本社・殿町メディカル研究所として開業(2021.10)

**クリエイトメディック** 2016.6開業等 0.3ha  
・シリコン製のカテーテルを中心とした、泌尿器系や消化器系の医療機器を製造・販売  
・開発部門を中心に関連部門を集約し、「新研究開発センター」として機能  
・健康見える化プロジェクトに被験者企業として参加(2022.4)

**国立医薬品食品衛生研究所** 2018.3運営開始 約2.7ha  
・医薬品、食品をはじめ、化学物質の品質、安全、有効性に関する試験研究を実施  
・地方衛生研究所や検疫所への指導を実施  
・未成長iPS細胞を高精度に検出できる技術を大阪大学、藤田医科大学とともに共同研究で開発(2019.7) 約37ha

**ヘパトリム** 2017.8開業等 約0.5ha  
・「特殊ヘパトリム」を基盤とする東大発の創業ベンチャー  
・ヘパトリム社が有する独自の創薬開発プラットフォーム「PDPS (Peptide Discovery Platform System)」は、薬の基となるペプチド化合物の創製やリード化合物の選択等を短期間で行うことができ、経口吸収性の優れた低分子治療薬や、特定の体内組織へ選択的に薬を届け治療効果の最大化につながるペプチド薬物複合体への展開が可能  
・米製薬会社 BMS と安価な新がん薬を共同研究中(2019.10)  
・富士通、みずほキャピタル、竹中工務店、キタ化学と、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発を目的とした合弁会社「ヘパトリム」を設立(2020.10)  
・富士フィルム 富山化学株の放射性医薬品事業の承継会社の全株式取得(子会社化)(2021.9)  
・2022年12月期の第1四半期決算より国際財務報告基準(IFRS)の任意適用(2021.11)  
・自社事業活動で消費する電力を削減するCO2(二酸化炭素)フリーとなる電力として導入(2022.1)  
・富士レボ・ホールディングスとの PDPS 自動化プラットフォームの運用に関する非独占的ライセンス許諾契約締結(2022.9)

**リサーチゲートビルディング(RGB2)** 2017.7開業等 約0.7ha  
・再生・細胞医療、医療技術・機器の研究開発等を行うことができる、ツインタワー構造の4階建てのハイオメガイカルブ  
・「川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター」「慶應義塾大学 殿町キャンパス」「東京工業大学 中分子IT創薬研究推進体」「神奈川県立保健福祉大学 大学院ヘルスイノベーション研究科」「住友ファーマ」「Cancer Precision Medicine」等が入居

**川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)** 2013.3開業等 約0.4ha  
・市が公募で選定した大成建設に、市有地を貸付し、同社が建物を建設し、20年間保有・運営。同社は市に1~3階を賃借するとともに、4階の民間テナントの入居者を誘致・賃貸  
・「川崎市環境総合研究所」「川崎市健康安全研究所」「川崎市産業振興財団」「神奈川県立産業技術総合研究所」「天然素材探索研究所」「エスアールエル」「アンジェス」「アルコールソリューション」「LabPMM」等が入居

**PDRファーマ 川崎PETラボ** 2022.3開業等 約0.3ha  
・放射性、非放射性医薬品および放射性標識化合物の研究開発等  
・富士フィルム富士化学がペプチドドームに放射性医薬品事業を譲渡(2022.3)  
・社名を「PDRファーマ」として、「ヘパトリム」が子会社化  
・米国 Eli Lilly 社との間でアルツハイマー型認知症のPET診断薬であるTauvid®に関する日本における共同開発契約締結(2022.11)

**ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)** 2015.4開業 約0.8ha  
・産学官が集う施設で、工学と医学の融合により日本のものづくり力を活かすためのナノ医療技術の研究を実施  
・文部科学省補助事業に採択(COINS)(2013.3)  
・「アンジェス」「プレイジック」「セラピューテクス」「花王」「トセラ」「ナノキャリア」「ナノエック」「日油」「SBIファーマ」等が入居  
・iCONMが中核機関となり実施したプロジェクトCOINSが、イノベーションネットワークアワード2022にて経済産業大臣賞を受賞(2022.5)  
・川崎市産業振興財団と米国BioLabs社がインキュベーション事業で事業提携(2022.6)  
・文部科学省補助事業に採択(CHANGE)(2022.10)

**ANA殿町ビジネスセンター** 2011.4開業等 約0.4ha  
・羽田空港を出発するANAの国際線・国内線の機内食製造・配送、ANAグループのオフィス等の複合施設  
・365日24時間稼働

**ヨドバシカメラ アップセンター** 2005.5開業等 14.9ha  
・首都圏などヨドバシカメラ店舗への配送業務を行う物流センター  
・製品には、無線ICタグが貼り付けられ、商品の自動化が図られている

※ 下線を付した企業は、「かわさきカーンセロフレン2050」の賛同者